

## 令和6年度 編入学・学士入学試験問題

学類名	人間発達文化学類	科目名	小論文
-----	----------	-----	-----

問題1、問題2の全てについて解答しなさい。

### 注意事項

1. 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は横書きとすること。
3. 句読点、引用符、括弧などはそれぞれ1字と数え、1マスを用いること。
4. 算用数字とアルファベットについては、それぞれ1マスに2字とすること。ただしこれらを単独で用いる場合は、1マスに1字とすること。

## 問題 1

資料 1 は伊藤亜紗著、『手の倫理』（講談社、2020 年）の一部です。資料 1 の内容と関連付けながら、安心と信頼の違いに関するあなたの考えを、経験や具体例などを交えて 600 字以内で述べなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承  
承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承  
承願います。

(出題者注) 出題の都合上、原文を一部変えています。

## 問題 2

資料 2 は森博嗣著、『勉強の価値』（幻冬舎、2020 年）の一部です。資料 2 において著者が述べている「勉強とは何か？」に対するあなたの考えと、もしあなたが社会に出たらどのような勉強を行っていきたいかについて、合わせて 600 字以内で述べなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承  
承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法等の問題から公表することができませんのでご了承  
承願います。

(出題者注) 出題の都合上、原文を一部変えています。

# 令和6年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 編入学および学士入学

人間発達文化学類のアドミッション・ポリシーをふまえつつ、2つの資料を与え、それぞれ600字以内で論述させることにより、受験者の理解力・思考力・表現力を総合的に判断する。

問題1では、安心と信頼の相違に関する文章を読み、その内容を理解した上で、自分の考えを述べる能力をみる。

問題2では、勉強とは何かに関する文章を読み、内容に関する自分の考えを述べた上で、資料の内容を展開する思考力をみる。